

政策評価シート【総括票】

施策の柱 3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

基本方針 市民の得た知識や経験により、より豊かな暮らしや、学習成果を生かせる社会が醸成されるよう、生涯を通じた学習やスポーツ活動を支えます。

担当局(区) 教育委員会 市民局 経済農政局

評価区分 D 政策の目的達成に向けあまり成果が現われていない

【評価の理由・説明】
 「生涯学習の推進」の分野では、中間目標値を超えた指標が「生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会活動で活かしている」で、これは、「地域づくりにつながる学習講座の推進」「ちば生涯学習ボランティアセンターの運営」などの取組みを着実に進めていることが要因と考えられる。一方で、公民館や図書館などの生涯学習施設の老朽化や利用者の高齢化・固定化といった課題を抱えており、「No.75.この1年間に、生涯学習施設を利用したことがある」の数値は伸び悩んでおり、市民に生涯を通じた良好な学習環境を提供できていない状況にあり、これは客観指標「No.78.公民館を利用する市民の割合」「No.79.1人あたり貸出図書冊数」にも表れている。
 また、個々の事業の成果である、客観指標「No.80.科学フェスタのイベント数」は大幅に向上しているにもかかわらず、「No.77.科学・技術に興味をもっている」の向上につながっていないのが現状である。
 次に、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」の分野では、「週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている」や客観指標「スポーツ・レクリエーション活動の参加者数」は中間目標値には届かなかったが、数値としては前回時よりも伸びており、各種スポーツ・レクリエーション団体との連携やスポーツ施設の整備・充実などに取り組んだ効果が一定程度表れていると考えられる。
 また、「市内のプロスポーツチームやゆかりのあるスポーツ選手に親しみを覚える」や客観指標、「ホームタウンチームのホームゲーム年間入場者数」は、トップスポーツとの連携の推進やZOZOマリンスタジアム(旧QVCマリンフィールド)の充実等、計画どおり実施しているものもあるが、数値としては前回より低くなった。これは、千葉ロッテマリーンズ及びジェフユナイテッド千葉の成績の低迷やライフスタイルの多様化による日常生活の中でのスポーツ関心度の低下などが要因と考えられる。

【今後の取組みの方向性】
 「生涯学習の推進」の分野は、第2次実施計画事業である「公民館の改築・改修」や花見川区役所への図書館機能の整備などのハード事業、「図書館の開館日・開館時間の拡大」などのソフト事業を着実に推進するとともに、市民ニーズに対応した講座やイベントの充実を図り、より身近で利用しやすい生涯学習施設としてサービスを提供することにより、市民の生涯学習環境の向上を図っていく。
 次に、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」の分野では、多くの市民がより使いやすいスポーツ・レクリエーション活動の場の提供に努めるとともに、誰もが気軽に関心を持ち参加機会が持てるよう情報発信や各種スポーツ・レクリエーション団体との連携、適切な施設管理に努めていく。
 トップアスリートの高度な技量や挑戦は、人々に夢と感動を与え自らがスポーツを行うきっかけとなることから、第2次実施計画事業でもある「トップスポーツとの連携の推進」において地域活動のコーディネイトや各チームとの連携強化を目的とした協定の締結を行うほか、市の広報媒体を利用したトップチーム等の活動情報の発信を行う。
 さらに、ホームタウンチームのホームゲーム年間入場者数増加のため、関係機関と協力していくとともに、多くの市民の応援が得られるようなホームタウンの推進事業を引き続き実施する。

評価区分の基準(指標の達成状況の平均点数)
 A:4.5点以上、B:3.0点以上4.5点未満、C:1.5点以上3.0点未満、D:0点以上1.5点未満、E:0点未満

生活実感・行動指標

指標No.	指標名	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
75	この1年間に、生涯学習施設を利用したことがある	50.3	54.0	57.0	60.0	44.1			×	-1
76	生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会活動で活かしている	8.8	9.6	10.3	15.0	10.0			◎	5
77	科学・技術に興味を持っている	34.9	40.0	45.0	50.0	33.4			×	-1
81	週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている	29.1	35.0	40.0	45.0	29.7			△	1
82	市内のプロスポーツチームや市にゆかりのあるスポーツ選手に親しみを覚える	40.1	43.0	47.0	50.0	36.5			×	-1

客観指標

指標No.	指標名(単位)	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
78	公民館を利用する市民の割合(%)	21.5	24	-	30	21.4			×	-1
79	1人あたり貸出図書冊数(冊)	5.4	5.7	6.0	6.3	5.0			×	-1
80	科学フェスタのイベント数(事業)	173	200	225	250	322			◎	5
83	スポーツ・レクリエーション活動の参加者数(人)	4,447,491	4,463,000	4,478,000	4,498,000	4,449,333			△	1
84	ホームタウンチームのホームゲーム年間入場者数(千人)	1,544	1,650	1,720	1,780	1,423			×	-1

平均点 0.6

施策別・事業の進捗状況

施策	進捗状況		主な事業の進捗状況(事業を取り巻く社会経済情勢、成果・課題など)
	達成	未達成	
3-2-1	18	21	「科学都市戦略の推進」などは目標を達成するも、「公民館の改修」や多くの生涯学習施設の利用者数について目標値に至らなかった。
3-2-2	10	12	公園緑地の整備(蘇我スポーツ公園)、QVCマリンフィールドの充実、スポーツ施設の維持管理及び改修については計画どおり実施。高洲市民プールの整備は、予測を上回る労務単価や資材単価の高騰による工事費不足により入札が不調となっていたため、建設期間を2年間から3年間へ変更。スポーツ活動支援・スポーツ大会開催・学校体育施設の開放等は、ライフスタイルが多様化し余暇活動の選択肢が増える等、社会状況の変化に伴いスポーツ・レクリエーション活動を行う人が減少傾向にあることから、開催数・参加人数が減少している。